



組合員の購読料は組合費に含まれます

荒川区西日暮里2-55-1 国鉄労組東京地方本部 発行責任者 石上浩一 編集責任者 常盤達雄

No.1717 定価 15円

2009年 12月5日

# 国労加入を 大胆に訴えよう

## 組織強化・拡大めざし 各地区本部支部大会開かれる

### 八王子地区本部

一月七日八王子地区本部は、八王子労政会館において第一三〇回定期大会を開催した。開会あいさつで田中副委員長は、一月四日に武蔵小金井駅連合分会で二六才の青年の国労加入があったことに触れ、スタートから盛り上がる大会となった。議長には河辺駅分会・小山代議員、副議長には大月駅連合分会・間下代議員を選出。小山委員長挨拶に続き多くの来賓挨拶。北見闘争団の水元さん、東京闘争団の寺内さんからそれぞれ訴えがあった。続いて東京地本石上委員長、東日本本部高野委員長挨拶が続いた。

発言の最初に武蔵小金井駅連合分会から加入の経緯などの報告があり、その後一五名の代議員から拡大への取り組みの報告が続き、また、エルダー再雇用に伴う問題点も多く出された。書記長集約では不採用問題・反合理化



八王子地区本部第13回定期大会

### 神奈川地区本部

の取り組みとともに組織拡大への強い訴えがあり、最後は本来であれば再選された小山委員長の団結がんばろうになることだが、武蔵小金井駅連合分会・内堀分会長による異例の団結がんばろうで拡大を目指す大会の幕が閉じた。

神奈川地区本部は、一〇月二四日神奈川県社会福祉会館において第一四〇回定期大会を開催した。

今大会は、八月の衆議院選挙で民主・社民・国民新党連立政権が生まれ、国政の仕組みが大きく変わる中、一二月二日には横浜地裁から「横浜人活訴訟」の判決、「採用差別国労訴訟」の結審と「JR不採用問題」の早期解決に向け新たな段階に突入した状況下での大会となった。

議長に東神奈川車掌区の山寺氏、副議長に大磯駅の吉川氏を選出し議事が開催された。中澤委員長の挨拶後、多くの来賓から政権が代わって期待感もあるが、労働運動の高揚なくして前進はない。JR不採用問題・横浜人活署名・安全問題に連帯して全力で取り組む挨拶がされた。

## 武蔵小金井駅連

### 組から

## 26才 相次ぎ国労加入



第14回 国労神奈川地区本部定期大会

### 大宮地区本部

一〇月二四日「さいたま市民会館うらわ」において、大宮地区本部第一〇回定期大会が開催された。

飯田委員長は、横浜人活事件の署名活動。安全問題について取り組み。職場改善の闘いとして、各系統毎の要求と交渉。組織拡大は、昨年二名仲間を迎えることが出来た。高齢化が進み、退職後の制度などを考えなければならぬ。九月に「エルダー・メンテ合理化出向社員交流会」を開催。多くの先輩から「大変労働条件が悪い」「国労だからがんばれる」「エルダーの賃金が大変安い」などの意見。国労が、職場・仕事の中心軸になることを目指し共に奮闘しよう、と言う挨拶があった。

場の状況や頑張り等が代議員から報告された。昨年一名を拡大した貨物大宮車両所からの発言。大宮電力技セから二名が主任試験に合格、また国労に加入した原田さんとのかわり。エルダー問題では、「現場長は一社しか紹介しない」などの不満。電車区では「浦電事件」の関係で、労務管理が厳しくなっている。運転職場の代議員は、気動車職場の将来構想についてなどの報告がされた。

### 新橋支部



第10回 国労大宮地区本部定期大会

一月六日「大井町・きゅりあん」において第七四回定期支部大会を開催。大会では、各代議員から職場の取り組みが報告された。

運輸車両職場では「G会社と一体となった業務体制のさらなる推進」の提案がされ、エルダー社員の職場確保、技術力の継承と名をかりた「合理化」だ。千名以上の出向が待ち受けている。「問題点を話し合い職場から反対していく」と各運輸職場から発言がされた。施設職場ではメンテナン合理化実施後、パートナー会社との業務区分が改善されず、超勤が増大し労働条件がきびしくなっている。

### 上野支部



第74回定期支部大会 国鉄労働組合 新橋支部

第一二三回国労上野支部定期大会は、一〇月三十一日北区の岸町ふれあい館において開催された。

会場いっぱいだった昨年を上回る傍聴者がつめかけるなか、議長に黒田さん(省力化軌道区)、副議長に大里さん(金町駅)を選出し、玉之内委員長はあいさつで、派遣切り問題や組織拡大による組織の活性化、地域での闘いと、訴えた。

方針の提案を受け、中間答弁は皆さんで一六人の代議員が討論に立った。駅のエルダー職場問題とGSの社員採用試験問題、施設・電気の直轄作業と委託作業の区分などの問題、大会直前に提案があった運転検修全面委託反対の取り組み、新採など組織強化・拡大の分会の取り組み、貨物のコンテナシステムの欠陥の改善、東北・北海道縦貫線開業後の基地問題など熱心な討論が展開されました。不採用事件関係がちよっと政治解決の様子見で意見が少なかった。

書記長集約で①不採用事件の取り組み②組合差別の根絶③労働条件の改善④組織拡大⑤春闘の5点にわたる集約を承認し、決算・予算の承認、スト権一票投票の後、森新委員(柏駅)の団結がんばろうで散会した。



第123回 国労上野支部定期大会

# 第60回大会発言録

## 経過報告等質疑

合田 満 (上野・我孫子保線技セ)

パートナー会社に対し、下請け単価の切り下げなどで劣悪な労働条件。結果的に事故が多発合理化による不平、不満を組合員の共通の問題として、議論を大切にしながら取り組む。

阿部 伸也 (八王子・立川運転区)

立川運転区は乗務員基地再編で発足。社員数は約三〇〇名。要員不足が現在△一〇、年内には△一二、来年には△一五。年休の失効、突発、休日出勤の蔓延。

新井 信喜 (大宮・南浦和駅)

委託職場は、大宮支社内で二五駅が宇都宮企画に委託。駅間での運転事故等は行かなくても良いとのことだったが、いつの間にか行くようになった。列停は復帰も安全

相田 好一 (大宮・浦和電車区)

浦和電車区事件判決・解雇処分以降、会社とJR東労組が緊張関係。今年五月のJR東労組全国キャンペーン出発式は現場長が許可を出さず、電車区内での集会は取り止めている。

南沢 順一 (中央・東京工務事務所)

慢性的な要員不足。大量退職を迎え、技術継承が進まず、工事発注や工事監督など不安が高まる。分会は工事体制と要員、職場諸要求の団体交渉を行った。職場諸要求調査において、組合員の要求や不満を会社に言い続ける。

松本 正吉 (神奈川・本郷台駅)

輸送障害は駅員や運転、検校、施設の要員不足が原因。根岸線は区間も長く、輸送障害が発生すると本郷台を含めた四駅中三駅がパスのみの振替輸送。京浜東北線は三支社にまたがることであり直ぐには行かないと思うが、早期に蒲田や鶴見での折り返し運転や、延長運転を速やかに実施するよう申し入れを求めた。

青木 孝一 (上野・東十条駅)

安全問題。長時間に亘る輸送障害が頻繁に発生。効率化や合理化に歯止めを掛けるためにも、技術基準の見直しを求める必要がある。宣伝行動・省庁への要請等の取り組みを進めるべき。大きな輸送障害が発生の際は、原因や問題点を会社に申し入れ交渉を開催

佐々木 義雄 (神奈川・鎌倉車両セ)

エルダー社員の問題。地区本部交流会を開催し、電話連絡などで呼びかけたが、仕事が辛くて出られなくなり断りの連絡。厳しい状況になっており、実態把握が出来ない。地本でエルダー再雇用の実態調査・賃金アンケートが取り組まれた。八人中六人から実態調査用紙、二名から賃金アンケートを集約。

相澤 嘉孝 (上野・貨物隅田川駅)

JRカード廃止について、存続を求める署名を千筆以上協力を得た。カード廃止は困ると日貨労の若い人の意見。中央貨物総行動は、春闘行動として総決

小川 真司 (新橋・新宿運輸区)

新宿運輸区は運転士約六〇名、車掌約九〇名で、国労組合員一〇名。国労の人は仕事が出来ない、相談にもく。趣味やプライベートの話やJR東労組の愚痴。しかし国労に入るかは難しい。彼らは、労働組合自体が嫌で、組合費もつたいたいと思っている人が多く見られる。何故組合が必要なのか理解してもらおうことが大事。国労は、こう聞いて、こう改善したい部分をもっとアピールすることが大切。

星川 義彦 (八王子・八王子信通技セ)

安全問題では、八王子駅構内で白煙が上がると、列車が進入。指揮命令系統や統制が取れていない。安全教育の不十分さが問題。エルダー雇用。対象者が二名いたが、甲府から通勤の人が、希望地が近くにならなくてエルダーを断念。その背景にはJR東労組優先や、六五歳以上でも年金をもらいながら居続ける状況が。資格問題でも、会社のルールに乗って再就職しなければ資格を取り上げる。こうした実態を踏まえて雇用の場を広げる取り組みをする。

伊東 敏明 (大井町・東京総合車両セ)

支部は組対委員会を立ち上げ、一週連続した早朝門前ピケ。昨年か新採に対する組合説明会を国労とJR東労組とで行っている。来年は国労への加入を勝ち取れるよう取り組む。

乾 六男 (上野・日暮里駅)

南口改札が業務委託されようとしている。面談の中で五〇歳以上に、出向の意思を聞かれていた。南口改札には休憩室がなく、券

保科 誠司 (八王子・三鷹車両セ)

組織拡大の取り組み。今年新規採用者が初出社する日に正門で訴え。新規採用者の世話は全てJR東労組の組合員や役員。残念ながら国労加入とはならなかったが、職場に来るまでは未加入が明らかになった。その一方で、不安や戸惑いを実感。エルダー制度。持病もあり、新しい仕事に就いたが、仕事がきつくと一月で退職。再雇用先を斡旋しているが、条件の考慮はあまりされていない。具体的分取組む。地本として、具体的な分取組む。職協のあり方。会社組織に合わせる必要はないし、分会が統合を望んでいる実態はない。時間をかけた職場討議、交流会の開催など、納得のいく合意と意思統一が必要。

曾我 功 (新橋・浜谷駅)

GSは職場全体の約三分の一以上。病氣、仕事、その他の問題が多く、契約途中で辞めていく仲間が多い。国労差別同様にGS内での競争原理、当局側の攻撃が多くなっているということがある。この間改札で食事作りからGSの声の中でわかってきた。GSの採用試験が実施された。渋谷駅でも合格率一〇、二次は悪くなった。渋谷駅。そうした中で本場にJRに採用されるのか、という不安である。また、年齢的な問題、そして採用試験が年一回という中で不安となっている。一人で多くGSが社員で、支部、分会が力を入れてくれるように地方本部、支部、分会が力を合わせて頑張る。

## 一般討論

齊藤 薫 (新橋・東京電車区)

運転士をしており、輸送障害が頻繁に発生し、長時間乗務、睡眠不足、精神的なストレスも溜まり、安全安定輸送も紙一重。平成採用や四〇歳代の仲間が病氣やその他の理由で亡くなっている。病弱者が安心できる職場環境、労働条件の緩和こそが急務。

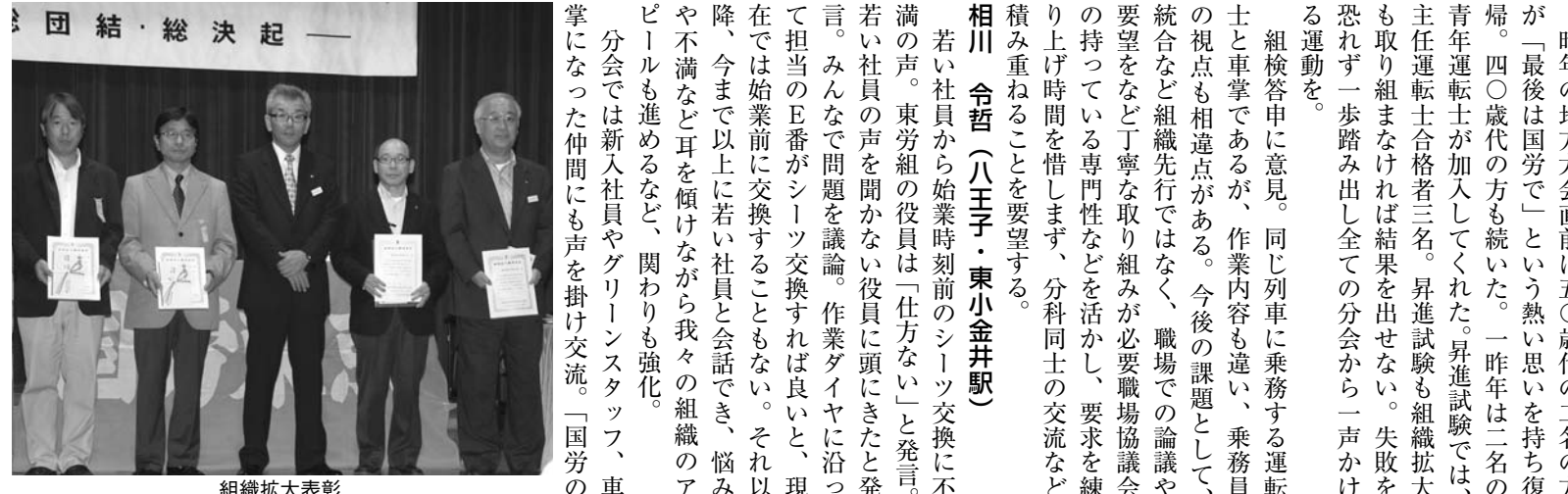
金子 順一 (新橋・中野電車区)

昨年の地方大会直前に五〇歳代の二名の方が「最後は国労だ」という熱い思いを持ち復帰。四〇歳代の方も続いた。一昨年は二名の青年運転士が加入してくれた。昇進試験では、主任運転士合格者三名。昇進試験も組織拡大も取り組まなければ結果を出せない。失敗を恐れず一歩踏み出し全ての分会から一声かける運動を。

相川 令哲 (八王子・東小金井駅)

若い社員から始業時刻前のシフト交換に不満の声。東労組の役員は「仕方ない」と発言。若い社員の声を聞かない役員に頭にきたと発言。みんなまで問題を議論。作業ダイヤに沿って担当のE番がシフト交換すれば良いと、現在では始業前に交換することもない。それ以降、今まで以上に若い社員と会話でき、悩みや不満など耳を傾けながら我々の組織のアップグレードを進めるなど、関わりも強化。分会では新入社員やグリーンスタッフ、車掌になった仲間にも声を掛け交流。「国労の

組織拡大表彰



試験制度について、公平公正に判断していると言いが、自動昇格との併用を求めると。二点目に、エルダー社員の問題。職場環境の変化、家庭の問題、人間関係など様々な問題がある。定年延長に向けた交渉過程など聞きたい。

千田 永 (新橋・蒲田車掌区)

輸送障害で分会が実態調査。首都圏での人身事故は、一月、九月で計二一九件。車両関係は一四二件、信号関係は五八件。輸送障害の実態を揭示し、他分会への配布や、他労組組合員にJRの安全はどうあるべきか宣伝した。会社側も輸送障害が発生した時には、事故内容など説明するように変化。

組検答申について。職能別協議会は本部規約に基づいて、同一の協議会にするのは規約改正が必要であり、車掌協議会の方が現実的ではないか。また、職協費についても検討。感情もあるのでは早急な設置には疑問が残る。地本への要請として、分会代表者と職協代表者との会議を開催し、時間をかけた職場討議を求めた。

新井 信喜 (大宮・南浦和駅)

委託職場は、大宮支社内で二五駅が宇都宮企画に委託。駅間での運転事故等は行かなくても良いとのことだったが、いつの間にか行くようになった。列停は復帰も安全

相田 好一 (大宮・浦和電車区)

浦和電車区事件判決・解雇処分以降、会社とJR東労組が緊張関係。今年五月のJR東労組全国キャンペーン出発式は現場長が許可を出さず、電車区内での集会は取り止めている。

南沢 順一 (中央・東京工務事務所)

慢性的な要員不足。大量退職を迎え、技術継承が進まず、工事発注や工事監督など不安が高まる。分会は工事体制と要員、職場諸要求の団体交渉を行った。職場諸要求調査において、組合員の要求や不満を会社に言い続ける。

松本 正吉 (神奈川・本郷台駅)

輸送障害は駅員や運転、検校、施設の要員不足が原因。根岸線は区間も長く、輸送障害が発生すると本郷台を含めた四駅中三駅がパスのみの振替輸送。京浜東北線は三支社にまたがることであり直ぐには行かないと思うが、早期に蒲田や鶴見での折り返し運転や、延長運転を速やかに実施するよう申し入れを求めた。

次に組織拡大。先日JR東労組の若い組合員と酒を飲んだ。国労の歴史、美世志会の問題など、様々なことを聞かれた。答えにくい問題もあり戸惑いもあったが、組織拡大に向けてプロジェクトチームを作り、様々なパンフレットを作っているが、国労の歴史を含め、節目の出来事を入れた新入社員用の冊子を作って頂きたい。

青木 孝一 (上野・東十条駅)

安全問題。長時間に亘る輸送障害が頻繁に発生。効率化や合理化に歯止めを掛けるためにも、技術基準の見直しを求める必要がある。宣伝行動・省庁への要請等の取り組みを進めるべき。大きな輸送障害が発生の際は、原因や問題点を会社に申し入れ交渉を開催

佐々木 義雄 (神奈川・鎌倉車両セ)

エルダー社員の問題。地区本部交流会を開催し、電話連絡などで呼びかけたが、仕事が辛くて出られなくなり断りの連絡。厳しい状況になっており、実態把握が出来ない。地本でエルダー再雇用の実態調査・賃金アンケートが取り組まれた。八人中六人から実態調査用紙、二名から賃金アンケートを集約。

相澤 嘉孝 (上野・貨物隅田川駅)

JRカード廃止について、存続を求める署名を千筆以上協力を得た。カード廃止は困ると日貨労の若い人の意見。中央貨物総行動は、春闘行動として総決

小川 真司 (新橋・新宿運輸区)

新宿運輸区は運転士約六〇名、車掌約九〇名で、国労組合員一〇名。国労の人は仕事が出来ない、相談にもく。趣味やプライベートの話やJR東労組の愚痴。しかし国労に入るかは難しい。彼らは、労働組合自体が嫌で、組合費もつたいたいと思っている人が多く見られる。何故組合が必要なのか理解してもらおうことが大事。国労は、こう聞いて、こう改善したい部分をもっとアピールすることが大切。

星川 義彦 (八王子・八王子信通技セ)

安全問題では、八王子駅構内で白煙が上がると、列車が進入。指揮命令系統や統制が取れていない。安全教育の不十分さが問題。エルダー雇用。対象者が二名いたが、甲府から通勤の人が、希望地が近くにならなくてエルダーを断念。その背景にはJR東労組優先や、六五歳以上でも年金をもらいながら居続ける状況が。資格問題でも、会社のルールに乗って再就職しなければ資格を取り上げる。こうした実態を踏まえて雇用の場を広げる取り組みをする。

伊東 敏明 (大井町・東京総合車両セ)

支部は組対委員会を立ち上げ、一週連続した早朝門前ピケ。昨年か新採に対する組合説明会を国労とJR東労組とで行っている。来年は国労への加入を勝ち取れるよう取り組む。

乾 六男 (上野・日暮里駅)

南口改札が業務委託されようとしている。面談の中で五〇歳以上に、出向の意思を聞かれていた。南口改札には休憩室がなく、券

保科 誠司 (八王子・三鷹車両セ)

組織拡大の取り組み。今年新規採用者が初出社する日に正門で訴え。新規採用者の世話は全てJR東労組の組合員や役員。残念ながら国労加入とはならなかったが、職場に来るまでは未加入が明らかになった。その一方で、不安や戸惑いを実感。エルダー制度。持病もあり、新しい仕事に就いたが、仕事がきつくと一月で退職。再雇用先を斡旋しているが、条件の考慮はあまりされていない。具体的分取組む。地本として、具体的な分取組む。職協のあり方。会社組織に合わせる必要はないし、分会が統合を望んでいる実態はない。時間をかけた職場討議、交流会の開催など、納得のいく合意と意思統一が必要。

曾我 功 (新橋・浜谷駅)

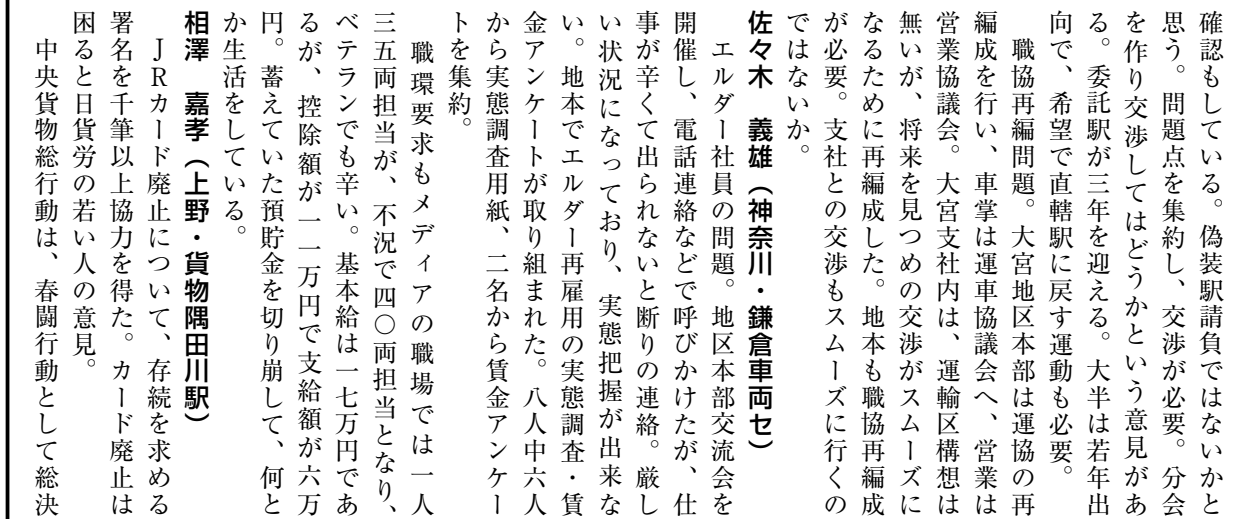
GSは職場全体の約三分の一以上。病氣、仕事、その他の問題が多く、契約途中で辞めていく仲間が多い。国労差別同様にGS内での競争原理、当局側の攻撃が多くなっているということがある。この間改札で食事作りからGSの声の中でわかってきた。GSの採用試験が実施された。渋谷駅でも合格率一〇、二次は悪くなった。渋谷駅。そうした中で本場にJRに採用されるのか、という不安である。また、年齢的な問題、そして採用試験が年一回という中で不安となっている。一人で多くGSが社員で、支部、分会が力を入れてくれるように地方本部、支部、分会が力を合わせて頑張る。

信藏 (神奈川・真鶴駅)

不採用問題。神奈川では意見書採択を全市町村議会に要請。残す議会は県議会と八町村。採用差別横浜入活裁判が二月二日判決。地区本部では、署名を集めることを執行委員会で決定。団体署名、個人署名を労働組合民主団体に要請し、毎週火曜日は横浜地裁前で宣伝行動。裁判所に要請行動。判決まで全力で取り組む。

組織拡大について。昨年大会以降、貨物二名、東戸塚駅二名、貨物川崎車両所として、国労で退職したやむなく国労を脱退したのが、国労で退職したいと思っている仲間にも声を掛けることが重要。また、環境アクセスのようなJRの関連会社の組織化。

平和と民主主義の取り組み。国府津支部は、JR国府津九条の会を結成し、地域の諸団体、九条の会と連携。地区本部は、原子力空母の母港化反対の集会に参加し、地域との共闘を進めてきている。



演壇 弁護団報告の福田弁護士

起集会、学習会、貨物本社周辺のデモ行進など展開。地本に要請として、貨物の制度賃金は大変低い。国労は単一労働組合である。優位性を生かして、機関の統一行動として取り組む。

組織拡大、新規採用者の動向。昨年の和解は労使関係の正常化を図り、差別をしないことを明確にしてきたが、貨物労組と会社の癒着が明らか。組織の未来展望を踏まえ、改めて和解の趣旨を活かし、取り組みの強化を。

小川 真司 (新橋・新宿運輸区)

新宿運輸区は運転士約六〇名、車掌約九〇名で、国労組合員一〇名。国労の人は仕事が出来ない、相談にもく。趣味やプライベートの話やJR東労組の愚痴。しかし国労に入るかは難しい。彼らは、労働組合自体が嫌で、組合費もつたいたいと思っている人が多く見られる。何故組合が必要なのか理解してもらおうことが大事。国労は、こう聞いて、こう改善したい部分をもっとアピールすることが大切。

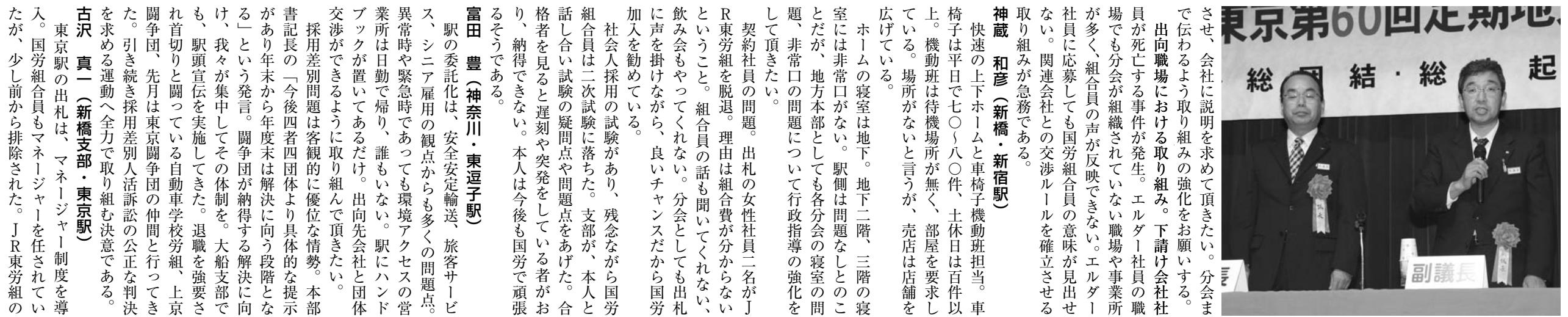
指導車掌について。和解以降二年続けて国労組合員一名を指導担当にしてきたが、ポテンシャル採用の新人車掌のみ。今回は国労組合員の指導担当者はいない。JR東労組は未だに分会長が、誰と誰に付ける名前を挙げているようだ。まだまだ差別が残っている。

岡本 敦 (大宮・大宮車両所)

貨物一括和解以降、取り組みが以前より後退しているのではないかと感じる組合員が多い。労働条件や生活の改善を進めるためには、様々な取り組みが重要。組合員に希望や展望を示すことが出来る取り組みも必要。

アスベスト問題。車両所では関わりが非常に強い。現在も古い車両の一部はアスベストを使用。また一〇年、二〇年以上前に作業していた人たちは、無防備のまま仕事。職歴等を調査し、現職・退職者に周知徹底を図り、相談できる窓口や学習会が必要。

昨年一二月に大宮車両所で二七歳の青年が日貨労から国労に加入。加入動機として、国労は和気藹々とした雰囲気と何よりもまとまっていた。団結の力強さを感じた。身近な若手にもっと働きかけることが必要、と言っている。この言葉こそ今の国労の運動を前進させる柱になる。



起 結 総 東京第60回定期地

組合員に聞くと、「今東労組を辞めればマネージャーを外される。五〇歳以上になって窓口はできない」と発言。東労組の組織強化をマネージャー制度が、担っている。新入社員や若手は、会社側に顔を向ける。現場で不公平な取扱いを拭拭する取り組みが重要。グリーンスタッフの約半数が、採用試験に不合格。東労組は、加入すると試験に合格すると宣伝し彼らを組織化してきたが、根本から崩れた。職場集会以「使い捨ての駒ではないか」、「これ以上やったらられない」など不満が出ており、国労として、ある程度経験を積んだグリーンスタッフは希望すれば正社員として採用するよう会社に申し入れる取り組みが必要。

星川 義彦 (八王子・八王子信通技セ)

安全問題では、八王子駅構内で白煙が上がると、列車が進入。指揮命令系統や統制が取れていない。安全教育の不十分さが問題。エルダー雇用。対象者が二名いたが、甲府から通勤の人が、希望地が近くにならなくてエルダーを断念。その背景にはJR東労組優先や、六五歳以上でも年金をもらいながら居続ける状況が。資格問題でも、会社のルールに乗って再就職しなければ資格を取り上げる。こうした実態を踏まえて雇用の場を広げる取り組みをする。

最後に国労互助会の規程では、親の介護で介護休暇を取得した際に支給の対象にならない。改善をお願いしたいと考える。

伊東 敏明 (大井町・東京総合車両セ)

支部は組対委員会を立ち上げ、一週連続した早朝門前ピケ。昨年か新採に対する組合説明会を国労とJR東労組とで行っている。来年は国労への加入を勝ち取れるよう取り組む。

不採用事件について。支部では大井町駅の駅頭において宣伝行動を国鉄闘争支援品川共闘会議が中心となり二〇年間継続。闘争団・争議団激励交流会を開催。東京選出の国会議員への要請について検討。

メンテナンス近代化施策。再雇用者の雇用の場確保という名目でインソーシングが交渉や事前説明がないまま行われていた。車両の機器更新工事の、殆どが協力会社に委託。安全点検をもとに交渉を行っているが、合理化・効率化に対する取り組みの強化をお願いする。

乾 六男 (上野・日暮里駅)

南口改札が業務委託されようとしている。面談の中で五〇歳以上に、出向の意思を聞かれていた。南口改札には休憩室がなく、券

保科 誠司 (八王子・三鷹車両セ)

組織拡大の取り組み。今年新規採用者が初出社する日に正門で訴え。新規採用者の世話は全てJR東労組の組合員や役員。残念ながら国労加入とはならなかったが、職場に来るまでは未加入が明らかになった。その一方で、不安や戸惑いを実感。エルダー制度。持病もあり、新しい仕事に就いたが、仕事がきつくと一月で退職。再雇用先を斡旋しているが、条件の考慮はあまりされていない。具体的分取組む。地本として、具体的な分取組む。職協のあり方。会社組織に合わせる必要はないし、分会が統合を望んでいる実態はない。時間をかけた職場討議、交流会の開催など、納得のいく合意と意思統一が必要。

曾我 功 (新橋・浜谷駅)

GSは職場全体の約三分の一以上。病氣、仕事、その他の問題が多く、契約途中で辞めていく仲間が多い。国労差別同様にGS内での競争原理、当局側の攻撃が多くなっているということがある。この間改札で食事作りからGSの声の中でわかってきた。GSの採用試験が実施された。渋谷駅でも合格率一〇、二次は悪くなった。渋谷駅。そうした中で本場にJRに採用されるのか、という不安である。また、年齢的な問題、そして採用試験が年一回という中で不安となっている。一人で多くGSが社員で、支部、分会が力を入れてくれるように地方本部、支部、分会が力を合わせて頑張る。

信藏 (神奈川・真鶴駅)

不採用問題。神奈川では意見書採択を全市町村議会に要請。残す議会は県議会と八町村。採用差別横浜入活裁判が二月二日判決。地区本部では、署名を集めることを執行委員会で決定。団体署名、個人署名を労働組合民主団体に要請し、毎週火曜日は横浜地裁前で宣伝行動。裁判所に要請行動。判決まで全力で取り組む。

組織拡大について。昨年大会以降、貨物二名、東戸塚駅二名、貨物川崎車両所として、国労で退職したやむなく国労を脱退したのが、国労で退職したいと思っている仲間にも声を掛けることが重要。また、環境アクセスのようなJRの関連会社の組織化。

平和と民主主義の取り組み。国府津支部は、JR国府津九条の会を結成し、地域の諸団体、九条の会と連携。地区本部は、原子力空母の母港化反対の集会に参加し、地域との共闘を進めてきている。

### 中岡 英之(新橋・蒲田駅)

J R東労組の若手三名が車掌試験に合格し、分会で送別会をやるつもりだったが、二名が参加できないとなった。運転から駅に来ていた役員が圧力。彼らは、運転職場の運動を広めようとしている。新入社員、GSの仕事に対する悩みなどを積極的に聞く中から、組織拡大に向けて取り組む。

蒲田駅では国労代表が労安メンバーに入り、職場の問題点、作業ダイヤ、職場改善などいろいろと意見を申し合ひ改善してきた。三月に駅長に呼ばれ、労安から外れて頂きたい、と言われた。会社の方針でコンプライアンスを守るべく決定した、と言われた。営業職代表で参加するのはどうなのか、と問いかけると、J R東労組の書記長が入るとのこと。今後も随時現場長に申し入れる予定である。

### 堀内 浩(神奈川・中原電車区)

差別感が拭えていない。分会では全体集会を開催し、エリア、地区本部にも出席して頂き、組合員の声を聞いた。運転士で強制配転させられた方が、今なお運転士に戻れていない。地本には今後とも特段の取り組みを要請する。

組織拡大について。私の分会でも多くの他労組組合員との関係が作られている。しかし、このような組織に加入させるのは可



大会前におこなわれた議員団総会のみなさん



哀想だ、という意見が多数。こうした中で、貨物の仲間の努力により、浜川崎駅分会、新鶴見機関区分会に続いて川崎車両所分会で、三二歳の仲間を迎え入れた。地本の組織拡大経験交流集会に私も参加した。出来ない議論をするのではなく、出来る議論を提起、という話が出されていた。大変なためになった。

### 前田 哲雄(大宮・大宮保線技セ)

立て続けに事故発生し、個人の問題、ルールを守らないから、となっている。新入社員は、それぞれ課題を持たされ、早く職場に帰りレポートを作成するため、

### 二〇〇九年度地方委員

- 新橋支部 神蔵和彦・桐山一彦・秋山忠久・斉藤薫・古沢真一・千田永
- 上野支部 青木孝一・合田満・倉持忠雄
- 神奈川地区本部 松本正吉・湊信蔵・堀内浩・水内正浩・富田豊・保田一
- 八王子地区本部 阿部伸也・星川義彦・大野広志
- 中央支部 南沢順一
- 大井工場支部 伊東敏明
- 自動車支部 唐沢恒夫
- 大宮地区本部 岡本敦・前田哲雄・金谷敏博

午前中に多めに巡視することを決めた矢先の事故。片手にスパナ、片手に調査用紙、検査用紙の巡視が当たり前。見張員が作業に巻き込まれている。また、見通し不良箇所、また退避すら困難なところがあること、などが出された。

対策として、巡視と検査・調査は、別作業で人員を配置する。施工基面は除草、砕石かき上げ、歩行板の新設などを決めた。また、退避余裕距離三五〇mが取れないカーブは、TC列警が鳴動していても線路外を歩くことを決めたが、どこからが三五〇mなのか分からない、目印を要求。我々は不安全な作業を見逃さないためにも安全、仕事総点検、点検摘発を強化する。

### 国労東京法律相談

要予約 1/13  
相談費用 2/10  
初回は無料 3/10

### 国労加入呼びかけ

1月 末まで  
ポスター募集中  
A4 サイズ

### 新春マラソン大会

1/9 皇居一周  
申し込みは  
地区本部・支部へ

### 大会宣言(案)

地方本部は、10月10・11日の両日、東京・発明会館において第60回定期地方大会を開催し、代議員の真摯な討論によりこの一年間の運動を総括し、当面する運動方針を確立した。

J R職場では「効率化」「機械化・システム化」「子会社化」などあらゆる施策が際限なく行われ、労働条件の劣悪化が進んでいる。こうした中で、労働者の安全を守り、労働条件の改善を目指す私たち国労の取り組みは一層重要になっている。

私たちはこれまで「安全・仕事総点検運動」をあらゆる職場で取り組み、安全や労働条件に関わる具体的な事実から改善を求めてきた。「職場に労働運動を」のスローガンの通り、職場末端からの取り組みを展開し、各級機関が改善に向けた取り組みを強めていくことが引き続き求められている。

さらに地方本部はこの一年間、組織強化・拡大を最重要課題として取り組み、大きな成果を勝ち取ってきた。各級機関から国労加入の報告が多数寄せられ、また、加入には至らなくても、多くの分会でこれまでに無い様な取り組みが報告されている。組織強化・拡大を実現することによって、積年の課題であるJ R不採用事件の解決や労働条件改善等も大きく前進することにつながる。これからの一年間、この流れを確実にものとしていくために、国労の総力をあげた闘いに全組合員が取り組んでいかなければならない。

また、J R不採用事件解決に向けた闘いは、「4者・4団体」を解決の枠組みと位置づけ、様々な困難を乗り越え、全体が一致結束し、政治解決を目指す環境と条件を作りあげてきた。解決に向け全国の自治体が1218本の意見書の採択を行うなど各級機関や各組合員がさまざまな取り組みを続けてきている。闘争団員の平均年齢も上がり、思い半ばで他界する仲間も多くなっている今日、一日も早い解決が求められている。この間私たちが様々な取り組みを続けてきた結果、各政党との窓口設置など徐々に環境整備も整いつつある。その中で8月30日に行われた衆議院議員選挙では民主党が第一党となり政権交代となった。これを、私たちが求める政治的解決に向けた絶好の機会ととらえ、政治に対する働きかけを強め、また、政府・鉄道運輸機構に解決テーブルを作らせるための大衆闘争や裁判闘争、政治闘争などを引き続き強化していかねばならない。

新政権はこれまで自公政権が生み出した格差社会や公共事業中心の政治を大きく転換しようとしており、平和や環境に対する動き、福祉や公共事業に対する税金の使い方、公共交通政策など、様々な影響が出てくることも想定される。したがって国民生活の向上やJ R不採用事件の早期解決に向けた、政治的取り組みが重要になっている。

こうした全ての課題に勝利するために、国鉄労働組合東京地方本部に結集するすべての機関・組合員は全力をあげることをする。

以上、宣言する。

### 第60回大会 来賓のみなさま

- 東京交連労協 久保議長
- 都労連 鈴木書記次長
- 全水道東水労 岩崎書記次長
- 東京平和運動センター 本橋議長
- 東京全労協 原副議長
- 東京地評 伊藤議長
- 中央共闘・連帯する会 山下事務局長
- 中央労金荒川支店 山崎支店長
- 社会民主党 保坂展人氏
- 日本共産党 古館都議会議員
- 勤労者企業組合 羽切理事長
- 交連共済東日本事業本部 宮坂本部長
- 上部機関 高野委員長
- 国労東日本本部 濱中書記長
- 国労本部 福田護弁護士
- 国労弁護団 佐藤洋二氏
- 国労議員団 日野市議会議員 河野達男氏
- 新宿区議会議員 柏市議会議員 本池なみえ氏
- 白河市議会議員 石名国光氏
- 昭島市議会議員 青山秀雄氏

### 祝電・メッセージ

自治労東京都本部・池谷委員長、日本共産党・笠井衆議院議員、中央共闘・中里議長、国労千葉地本・土井委員長、高崎地本・横塚委員長、盛岡地本・齋藤委員長、秋田地本・瀬下委員長、水戸地本・佐藤委員長、近畿地本・居川委員長、新潟地本・守橋委員長、仙台地本・橋本委員長



医療の進化にあわせた、アフラックのいちばん新しい「がん保険」です。



(引換保険会社)

「生きる」を創る。  
**Aflac**

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)  
東京第二法人営業部  
〒163-0456 新宿区西新宿1-1 新宿三井ビル  
Tel.03-3344-1459 Fax.03-3344-4036

(募集代理店)  
アベニール 株式会社  
電話 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822  
〒109-0004 東京都港区新橋3-15-5 交通ビル3F  
(取りまとめ先)  
(財) 国鉄労働組合東京地方部  
JR電話 054-2548 FAX 03-3806-9275  
電話 03-3806-9264  
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-5-1

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。  
詳しくは、「パンフレット(契約概要)」や「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。 AF104-2008-0124 4月18日